

# 中国の経済発展をどうみるか

2007年5月8、15、22日

東京大学総合文化研究科・教養学部

学術俯瞰講義「人類社会の将来とサステナビリティ」

各論2 「持続可能な開発」の課題

講師：中兼 和津次（青山学院大学）

「†:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。引用情報のない図版は、著作権フリーなもの、あるいは講演者の有する著作物の中から引用されたものです。」

# 現代中国と雁行形態的發展

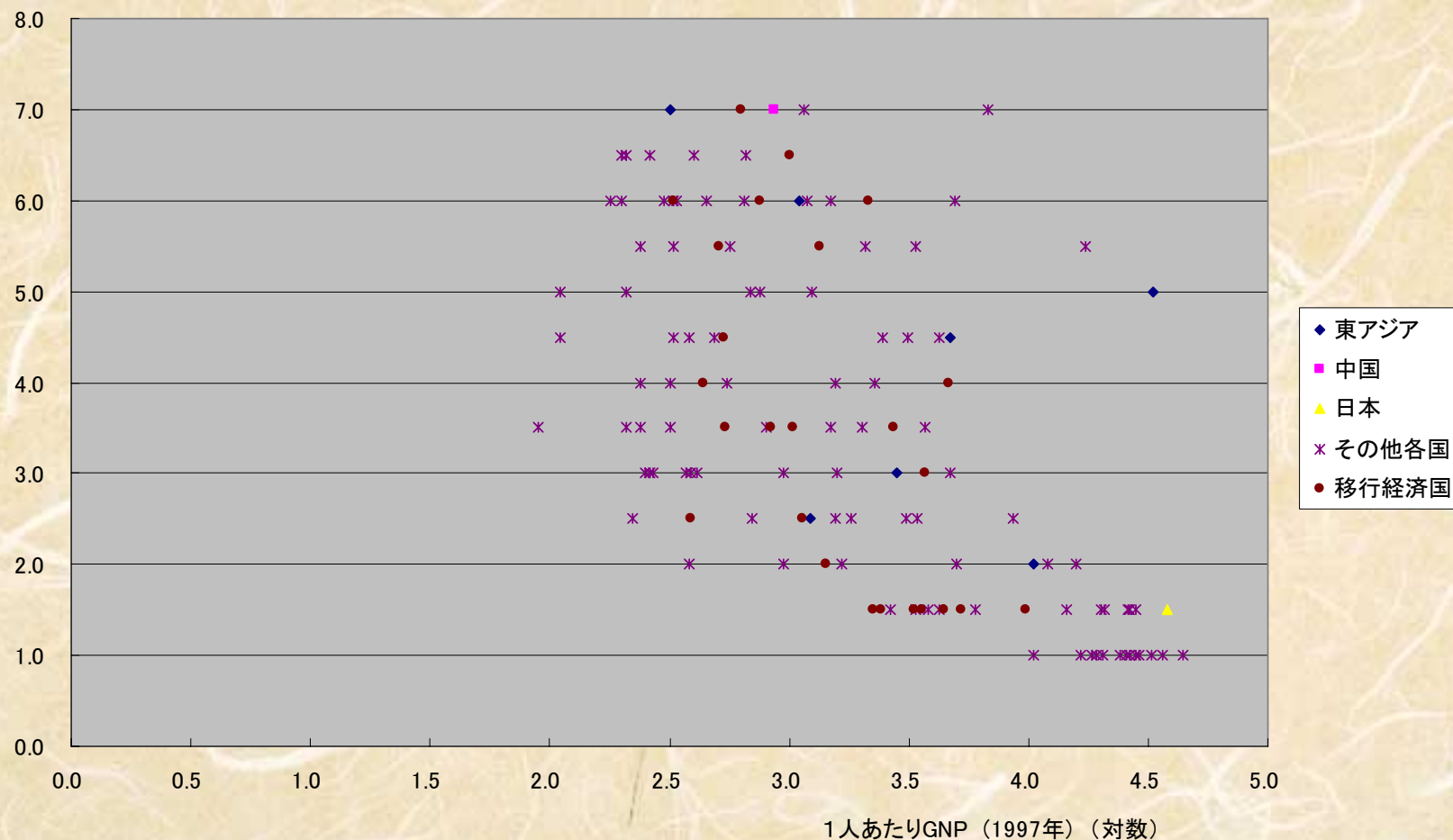
- それでは、改革開放以後の中国はこのようなプロセスで発展してきたのか？
- 部分的にこのモデルが中国に妥当しないいくつかの理由
- 毛沢東時代の遺産
- 海外からの直接投資
- 産業集積や規模の経済
- 急速な技術進歩
- 中国の一部の産業はすでにASEANを凌ぐ

# 中国の現状と開発独裁論

- 中国はきわめて開発主義的
- 中国は開発独裁体制である（毛里和子）
- もしそうならば、中国は経済発展さえすれば民主主義になる？（唐亮）
- しかし、政治体制と経済発展との関係は多様
- たとえば、自由と発展との関係を見てみよう

# 自由度と発展水準(筆者作成)

## 体制の不自由度

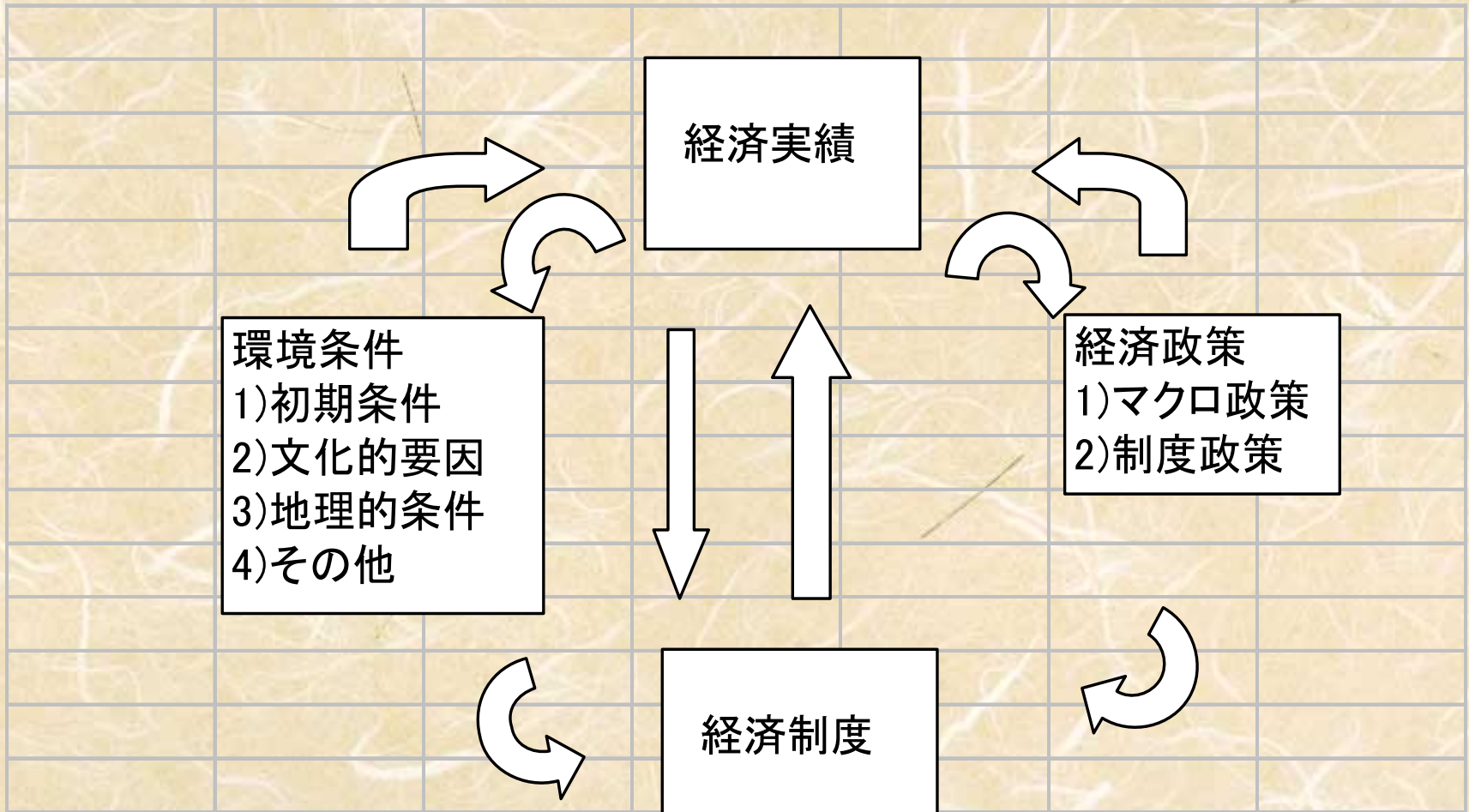


# 小結：以上の分析からいえること

- これらのモデルや命題は中国の発展過程を説明できるか？
- 基本的には有効だが、さまざまな修正が必要
- なぜ？ 2つの理由
- 中国の特殊性（歴史、政策、制度、規模 etc）
- モデルや命題自体の持つ内在的限界

# 制度、政策、経済実績の相互関係

(筆者作成)



### 3. 中国経済成長可能性

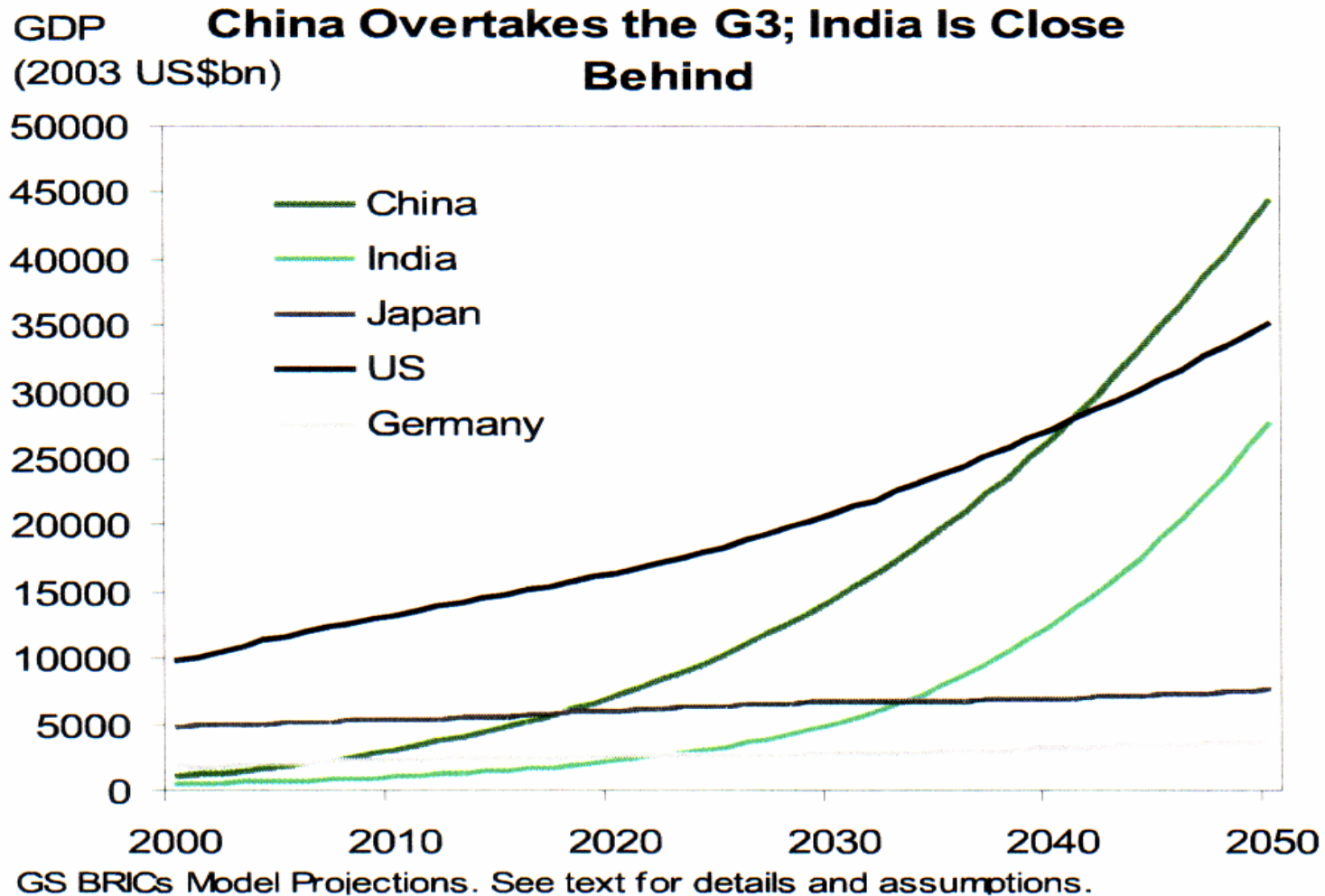
- 中国経済の高成長はこのまま続くのか？
- 交錯する楽観論と悲観論
- これまで出された「中国崩壊論」とその構造
- 中国の否定的側面のみ注目
- 現実と期待との混同

# 中国経済成長展望 ゴールドマン・サックスの予測

- 中国は2020年以前に日本を追い抜く
- いずれはアメリカを凌ぐ世界第一の経済大国に
- 中国の長期戦略目標: 21世紀の半ばには世界の中進国に

# China's Growth Prospect: Goldman Sachs' Projection (*Global Economics Paper No. 99:*

*Dreaming with BRICs: The Path to 2050, 2005* )



# 中国経済の楽観的展望

- 楽観論の根拠

1) 政治の「安定性」(経済成長している限り政治は安定する)(後述)

2) プラグマティズム

脱イデオロギー化

3) 開発の余地: 西部と農村

4) 国際化と後発性の利益

5) 総じて、中国経済の持つ「若さ」

# 中国経済の成長力とは？

- 成長会計 (growth accounting) から見た中国経済の成長力
- 成長率 =  $f$  (労働の質的、量的増加率、資本の増加率、技術進歩率、制度の改革率、 $\alpha$ )
- 教育水準の向上
- 余剰労働力
- 技術水準の向上
- 制度改革
- $\alpha$  (その他の要因): たとえば政治的安定性

# 成長制約要因あるいはリスク

- 中国に山積する課題:たとえば・・・
- 人口問題:一人っ子政策や将来急速な高齢化問題を引き起こす
- エネルギー問題:エネルギーが不足し、世界の需要圧力を高める
- 対外摩擦:たとえば膨大な貿易黒字は中米摩擦をもたらす
- 政治体制:多様化する政治的利害を硬直した一党独裁制で対応できるのか？

# つづき

- 格差・分配問題：悪化する不平等に体制は耐えられるか？
- 少数民族問題：チベットやウイグル族らの自立志向を抑えられるか？
- 環境問題
- 腐敗問題
- 三農問題

## 4. 中国経済と農民・環境・腐敗問題

- なぜこれら3つの問題を取り上げるのか？
- 現在中国が抱える最も深刻な問題であること
- したがって、今後の中国の行方を大きく左右すること
- またこれらの問題を通して、中国社会や経済の特質を知ることができる
- 問題発生メカニズムにある種の共通性がある

## 4. 1 「三農問題」とは？

- 中国における農業、農村、農民問題とは？
- なぜ発生したのか？
- 頻発する農民暴動・争議

# 頻発する農民騒動中国12省市区における農村争議(2003年10-11月)(『争鳴』2003/12)

"地 区","争議件数(件)","参加者数(人)","争議の原因"

“天津市”, “3”, “3万以上”, “農地徴用”

“河北省”, “20以上”, “10万以上”, “綿花買い付け価格、道路工事賃金未払い”

“河南省”, “50以上”, “30万以上”, “タバコ買い付け代金未払い、雑税徴収、農地徴用”

“湖北省”, “40以上”, “26万以上”, “食糧買い付け価格、代金未払い、農地徴用”

“重慶市”, “11”, “12万以上”, “生豚買い付け価格、雑税徴収、農地徴用”

“山東省”, “22”, “30万以上”, “農地徴用、景勝地売却、雑税徴収”

“安徽省”, “30以上”, “15万以上”, “農地徴用、農産物低価格買い付け、無償道路補修強要”

“江西省”, “40以上”, “20万以上”, “出稼ぎ労働者賃金未払い、農産物低価格買い付け、化学肥料代値上げ、信用合作社による高利貸し付け”

“湖南省”, “20以上”, “12万以上”, “農地徴用外部への売却、農民騒動指導者の拘束、税目増加”

“遼寧省”, “30以上”, “15万以上”, “農地徴用、農業税収20数項目増加、道路工事賃金未払い”

“黒竜江省”, “40以上”, “10万以上”, “国営林場給料未払い、農地徴用、農民鉱山労働者に対する搾取”

“内蒙古自治区”, “30以上”, “6万以上”, “林場徴用、畜産物低価格買い付け、未払い、道路工事賃金未払い、デモ・警察との衝突”

北京市順義県窑坡村村民はあらゆる所に「流失してしまった」請負地を取り戻そうと訴えているが……

著作権処理の都合で、

この場所に挿入されていた

「北京市順義県窑坡村村民の写真」

を省略させていただきます。

# 農地収用のプロセス

- 「用地単位」
- 「国土行政主管部門」
- (県あるいは市の)「統一徴地弁公室」
- 鎮・村政府
- 土地請負権者：農民
- 日本との違いはどこに？日本における土地収用手続きと比べてみよう

# 中国における土地収用の進め方

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
「中国における農地収用フロー図」  
を省略させていただきます。

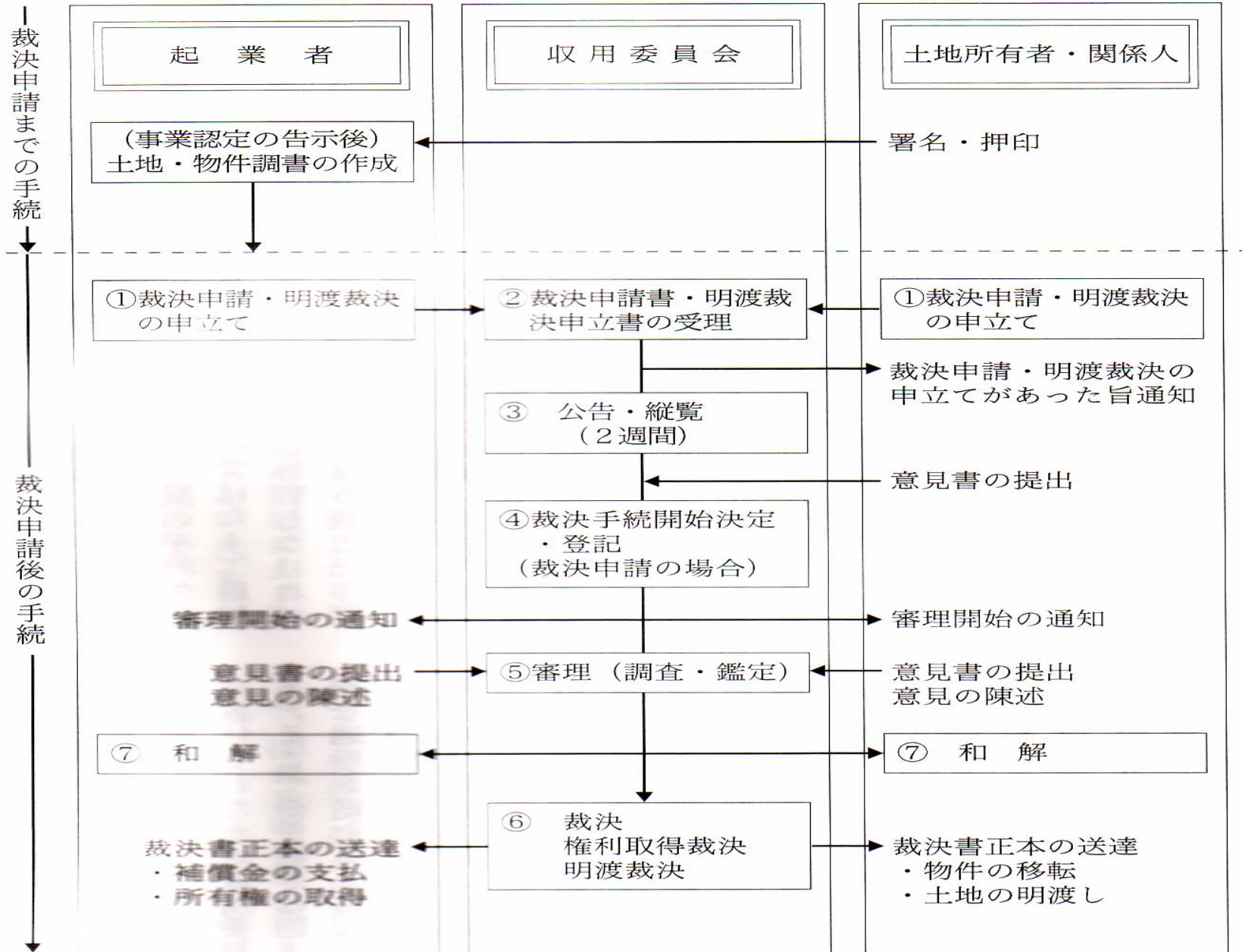


図1 日本における農地収用手続き

# 補償金は誰に、どれだけが？

- 農地徴用補償基準：過去6年間の収益をその用地の経済単位に
- 村が受け取る部分
- 農民が受け取る部分
- しかしそれ以上に開発単位が膨大な利益を

# 土地収用の利益はどこに？

- 江蘇省の調査によると、政府が農地転用価値増加部分の60-70%、農村集団経済組織が25-30%を得、農民はわずか5-10%得るだけ
- 西部のある省の事例：2003年の農民一人あたり純収入1675元、道路建設補償金は1畝（6.7アール）当たりわずか6000元

# 農民たちの怒り

- 河北省定州における農民とゴロツキとの衝突、  
広東省汕尾における農民と警官隊との衝突
- 陳桂棣・春桃『中国農民調査』報告の描く農  
村幹部の無慈悲な対応
- それでも中国農村が大混乱し、政権が崩壊し  
ないのはなぜか？
- 農民たちが無知だから？ 国家による弾圧が  
あるから？

# 農民問題：日中の比較

- 日本ではどうしてこうした問題が起こらないのか、あるいは起こりにくいのか？
- 経済が発展したために日本の農民が豊かになったからか？
- 土地所有制度の違い
- 政治体制の違い：農民の利益を誰が、どのように代表するのか？

## 4. 2 中国環境問題の構造

- 深刻化する中国の環境問題
- 中国における環境問題の構造
- 大気汚染
- 水不足と水質汚濁
- ゴミ問題
- 砂漠化

# 1) 砂漠化の進展

- 全国の砂漠化面積267.4万km<sup>2</sup>（国土の27.9%）
- そのうち、砂地面積は毎年3,436 km<sup>2</sup>の速度で拡大
- 全国4億人が砂漠化の影響を受け、毎年の直接的経済損失は65億ドルに

## 2) 水問題

- 一人当たりの水資源:  $2200\text{m}^3$  で、世界平均の  $1/4$ 、アメリカの  $1/5$ 、18の省(市、自治区)で国連の持続的発展委員会が審議している一人当たり占有水資源量  $2000\text{m}^3$  を下回り、そのうち10の省で  $1000\text{m}^3$  の最低限を下回る
- 全国669の都市のうち、400余の都市で水不足、110市で重大な不足に見舞われている
- 全国約50%の河川、90%の都市で水質汚染が進む
- 全国で3億人が安全な飲料水を飲めない
- 保守的な推計で、2004年に水汚染がもたらした環境損失はその年のGDPの1.7%に

# 全国排水・COD排出量(2005年中国環境状況公報より)

| 項目   | 排水排出量(億トン) |       |       | COD排出量(万吨) |       |       | アンモニア窒素排出量(万吨) |      |      |
|------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|----------------|------|------|
| 年度   | 合計         | 工業    | 生活    | 合計         | 工業    | 生活    | 合計             | 工業   | 生活   |
| 2001 | 432.9      | 202.6 | 230.3 | 1404.8     | 607.5 | 797.3 | 125.2          | 41.3 | 83.9 |
| 2002 | 439.5      | 207.2 | 232.3 | 1366.9     | 584   | 782.9 | 128.8          | 42.1 | 86.7 |
| 2003 | 460        | 212.4 | 247.6 | 1333.6     | 511.9 | 821.7 | 129.7          | 40.4 | 89.3 |
| 2004 | 482.4      | 221.1 | 261.3 | 1339.2     | 509.7 | 829.5 | 133            | 42.2 | 90.8 |
| 2005 | 524.5      | 243.1 | 281.4 | 1414.2     | 554.8 | 859.4 | 149.8          | 52.5 | 97.3 |

### 3) 大気汚染

- 日本よりも規制値は厳しく設定されているが...
- 改善が進まない大気汚染

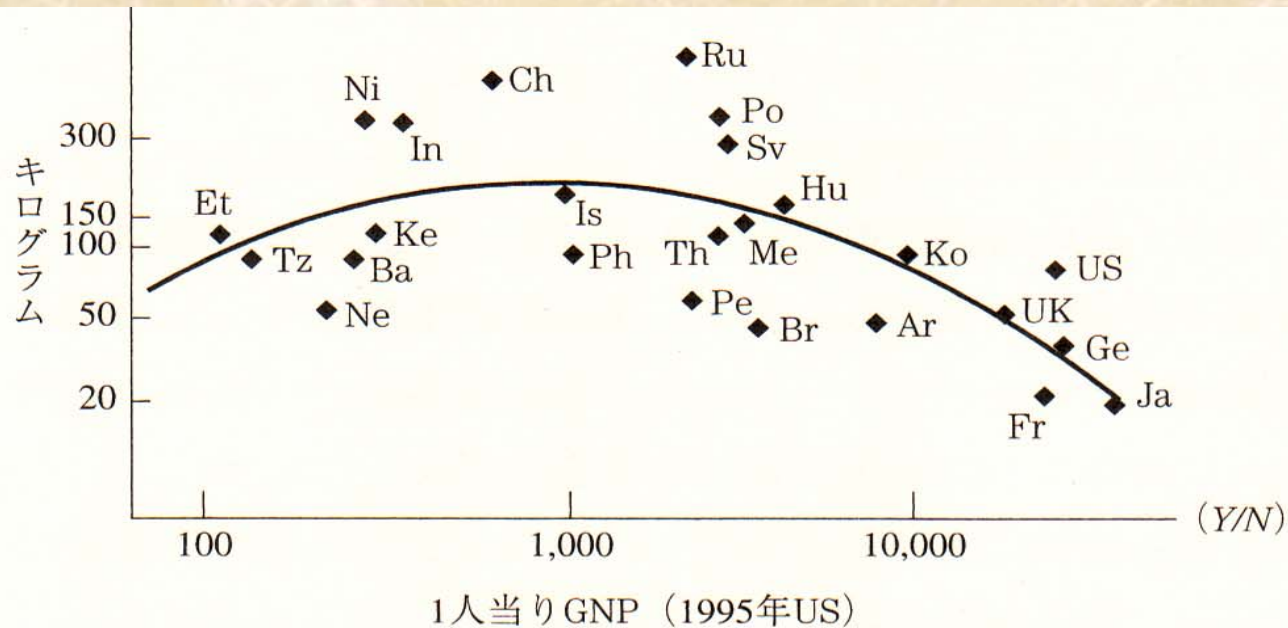
# 大気汚染の変化

| 項目           | 二酸化硫黄排出量 |        |       | 煙塵排出量  |       |       | 工業粉塵  |
|--------------|----------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 年度           | 合計       | 工業     | 生活    | 合計     | 工業    | 生活    | 排出量   |
| 2000         | 1995.1   | 1612.5 | 382.6 | 1165.4 | 953.3 | 212.1 | 1092  |
| 2001         | 1947.8   | 1566.6 | 381.2 | 1069.8 | 851.9 | 217.9 | 990.6 |
| 2002         | 1926.6   | 1562   | 364.6 | 1012.7 | 804.2 | 208.5 | 941   |
| 2003         | 2158.7   | 1791.4 | 367.3 | 1048.7 | 846.2 | 202.5 | 1021  |
| 2004         | 2254.9   | 1891.4 | 363.5 | 1095   | 886.5 | 208.5 | 904.8 |
| 年度増減率<br>(%) | 4.5      | 5.6    | -1    | 4.4    | 4.8   | 2.9   | -11.4 |

# 環境問題の日中比較

- 環境クズネッツ曲線
- 中国は単に日本の後を追いかけるだけか？
- 日本との違い
- 気候条件
- 自然地理環境
- 制度的条件：住民運動に見られる日中の差

# 環境クズネッツ曲線 (速水前掲書、214ページ)



Ba バングラディッシュ  
In インド  
Ni ナイジェリア  
Tz タンザニア  
Et エチオピア  
Ne ネパール  
Ke ケニア  
Ch 中国  
Ru ロシア

Th タイ  
Po ポーランド  
Sv スロバキア  
Is インドネシア  
Ph フィリピン  
Me メキシコ  
Hu ハンガリー  
Pe ペルー

Br ブラジル  
Ko 韓国  
Ar アルゼンチン  
Fr フランス  
UK 英国  
US 米国  
Ge ドイツ  
Ja 日本

## 4. 3. 腐敗の中国的様相

- 腐敗(corruption)とは？
- 中国でなぜ腐敗は蔓延するのか？
- 「権力社会」という社会特質により(王雲海)
- レフ＝ハンチントン仮説：腐敗は途上国にとって有用
- 腐敗の実証研究：この仮説を支持せず

# 腐敗なぜ生まれるのか？

- 腐敗の原因
- 精神的墮落から？

クリットガード (Klittgaard) の公式

腐敗＝独占＋裁量－説明責任

- 腐敗の抑制：

この公式から導かれる制度的配置

- (1) 効率的でスリムな政府と競争
- (2) 透明性の確保・・・報道の自由
- (3) 法による支配の貫徹

# 腐敗と市民的権利 (Vinod Thomas et al. *The Quality of Growth*, Oxford University Press, 2000, p.151)

著作権処理の都合で、

この場所に挿入されていた

「Corruption and Civil Rightsの表」

を省略させていただきます。

# 中国における腐敗の原因

- 国有企業の存在
- 国家規制の強さ
- 市場経済の急速な発達と遅れる制度化
- 報道の自由の欠如
- 住民運動に対する制限
- 弱い議会機能

# レポートの課題

- ある体制が持続可能であるということはどういうことを指すのだろうか？ 体制持続の政治的、経済的、あるいは国際的要因などの諸要因と、それらの間の相互関係について議論しなさい。
- 革命の発生条件、体制転換の諸要因、あるいは経済発展の持続的条件などから考えてもよい。
- 引用文献を明示し、くれぐれもインターネットから直接ダウンロードしないこと。

## 4. 4 体制の安定性について

- こうした難問により中国はいずれ崩壊するのだろうか？
- もう一度「中国崩壊論」の構造を振り返ってみよう
- たとえば宮崎正弘『中国瓦解——こうして中国は自滅する』を読むと・・・
- 否定的側面の羅列、しかしこれまで体制が持続しえたこと、そのメカニズムについては書かれない
- 「憎たらしいけど強い朝青龍」説